

区民の声と結んで政治を動かす

日本共産党
杉並区議団

防衛省宿舎跡地に特養ホーム

高円寺南5丁目の廃止決定された防衛省宿舎跡地の活用について、地域のみなさんとアンケートに取り組み、福祉施設として整備するよう議会で繰り返し要求。その結果、用地の半分を高齢者施設（定員70名の特養ホーム、ショートステイ等）として整備することが決まりました。残りの用地は消防署発出所として整備されます。



就学援助 入学準備金が前倒し支給に

準要保護世帯に対する入学準備金の支給時期について、区民から「入学後の7月支給ではなく、実際にお金が必要な入学前に支給してほしい」という切実な声が寄せられていました。党区議団は、再三にわたり前倒し支給を要求。小学校は2019年から、中学校は2020年から入学前に支給する方針が示されました。



方南町駅にエレベーター・エスカレーターが完成

東京メトロ方南町駅のエレベーターが完成し、12月9日から利用開始されました。町会、商店会など地域住民の声や「東京メトロ利用者の会」の署名運動・直接交渉など粘り強い運動が実を結んだものです。

日本共産党は「東京メトロ利用者の会」とメトロ本社に延べ16回にわたり直接交渉を実施。エスカレーターや階段出口の設置も要請し、実現しました。



党区議団の提案 豊かな財政力は、くらしと福祉、最優先で

区は「財政が厳しい」と、区立施設の削減や負担増を強行する一方、550億円もの「財政のダム」構築に向けた基金積み立てを着々と進め、2016年度決算の基金総額は428億円にのびました。過大な貯めこみ方針は改め、区民福祉の向上に活用すべきです。

誰もが安心して払えるように

- 国保料、介護保険料の引き下げ

子育て世代の負担軽減

- 小中学校給食無償化
- 就学援助の拡充

子どもたちに良質な保育を

- 区立保育園は民営化せず区直営で
- 民間まかせを転換し、区立保育園の増設に踏み出す

いつまでも住み続けられる杉並へ

- 特養ホーム、介護施設の増設
- 障がい種別のグループホーム整備

安心できる住まいの確保を

- 公営住宅の増設
- 低所得世帯への家賃助成

利用しやすい区立施設へ

- 区立施設再編整備計画は撤回を
- 使用料の引き下げ

日本共産党
杉並区議団

区民の声が生きる区政へ!



昨年は、国連会議での核兵器禁止条約の採択、ICANのノーベル平和賞受賞など、核廃絶に向けた流れが大きく前進しました。唯一の戦争被爆国である日本は、率先して条約に参加すべきですが、安倍政権は核廃絶を求める国際世論に背を向け続け、世界に誇る憲法9条まで改悪しようとしています。

区政では、区民無視で区立施設の削減や縮小を進める区長の区政運営に大きな怒りが広がっています。日本共産党杉並区議団は、区民の声を大切にする区政への転換をめざすとともに、安倍政権の暴走を許さないために、今年も全力を尽くします。

お困りごと・ご相談は、日本共産党杉並区議団へ 03(3312)2111



日本共産党杉並区議団ニュース
NO.372 2018年1月

発行：日本共産党杉並区議団
杉並区阿佐谷南1-15-1 杉並区議会内
TEL 03-3312-2111 FAX 03-3312-2610

住民の声に向き合わない暴走区政

区民の切実な声を届ける 日本共産党杉並区議団

田中区政のもと、区民の財産である区立施設が次々と削減・縮小されています。多くの計画が、区長のトップダウン、区民無視で進められており、どんなに反対や見直しを求める声があがっても、区は聞く耳を持つ姿勢がありません。

公園の保育園転用

地域住民や子どもたちの猛反対を押し切って、利用頻度の高い久我山・東原公園、下井草・向井公園を乱暴に保育園に転用。

あんさんぶる荻窪が廃止に

荻窪税務署との財産交換によって「あんさんぶる荻窪」と同施設内の荻窪北児童館が今年3月で廃止に。

地元説明会を一度も行わずゴリ押ししてきた田中区長に地元住民の怒りが爆発。町会長が区長を訴えています。



高円寺地域小中一貫校計画

高円寺地域の小中一貫校(杉四小、杉八小、高円寺中の統廃合)建設問題で、工事業者が住民説明会の場で参加者を盗撮していたことが判明。さらに、抗議行動をしている近隣住民を恫喝目的で訴え、挙句の果てには、工事遅延の責任を住民に押しつけました。区は一貫して工事業者を擁護し続け、住民に寄り添う姿勢がありません。



区政を変えましょう!

深刻化する田中区長の暴走に対し、区議会では、自民、公明、未来(民進党系会派)はもちろん、いのち平和クラブ(無所属区民派、社民党、生活者ネットなどの会派)までもが区長追従です。

党区議団は区民の切実な声を届けるとともに、住民運動に携わっている方々とも力を合わせ、区民の声が生きる区政に転換させるために奮闘しています。

国保料が大幅値上げ!? 全都の平均で1.3倍

独自繰入を継続し、値上げストップへ!

今年4月からの国民健康保険制度「都道府県化」に伴い、保険料の大幅値上げが懸念されています。東京都は、自治体による一般会計からの独自繰り入れをやめるよう求めており、その場合、全都平均で1.3倍も値上げとなる試算を公表。党区議団は、区の独自繰り入れを継続し、保険料の値上げを抑えよと求めています。大幅値上げにストップをかけるため、全力をあげます。

杉並区の場合のモデルケース
(日本共産党都議団が行った試算より)

65歳以上1人暮らし 年金収入300万円	現在(年額) 18.8万円→21.5万円
40代夫婦と子ども2人 給与年収400万円	現在(年額) 48.3万円→57.4万円

負担増止めよ 区長に申し入れ



12月6日、党区議団は、来年度からの国保料の負担軽減を求める緊急の申し入れを行いました。

区民には保育料大幅引き上げで負担増 区長や議員は給与・報酬アップ!?

昨年の第4回定例会で、保育料を大幅に引き上げる議案が提案されました。区民税非課税の低所得世帯をはじめ、すべての所得階層に1~3割程度の負担増を押しつけるもので、子育て世代には深刻な打撃となります。そもそも保育とは、保育に欠ける乳幼児に対し、児童福祉法に基づき、区市町村が実施義務を担うものであり、かかる費用は国と都、区が負担すべきものです。

保育料の大幅引き上げを強行する一方、区長や議員の給与・報酬を引き上げる条例が賛成多数で可決・強行されました。保育料引き上げの際には、保育関連経費の増加・区財政の負担増をあまりながら、自らの懐には手厚い田中区長の姿勢は許されません。

党区議団は、両議案に反対しました。区長に追従し、引き上げに賛成した各会派議員の責任が厳しく問われます。

議案に対する各会派の賛否 (○:賛成、×:反対)

議案	自民	公明	未来	平和	共産	自無	杉わ	共生	美杉	無	維新
保育料引上	○	○	○	○	×	○	×	○	○	×	○
議員報酬引上 区長給与・	○	○	○	×	×	○	×	○	×	×	×

原水爆禁止署名運動発祥の地・杉並の区長として 政府に核兵器禁止条約の採択を求めよ

昨年の第3回定例会で、党区議団は、核兵器禁止条約について取り上げ、不参加を表明している日本政府に対し、杉並区として条約参加を求めるべきと迫りました。

区長は、条約採択については肯定的な見解を示しましたが、日本政府の態度については明確な答弁を避け、政府に対して条約参加を要望することは考えていないと答弁。原水爆禁止署名運動発祥の地・杉並の区長として、あまりにも情けない姿勢を示しました。核兵器廃絶を求める被爆者と区民の声に寄り添い、政府に対し積極的な条約参加を求めるべきです。

安倍9条改憲NO! 憲法を生かす全国統一署名
300万人署名にご協力ください
署名用紙ダウンロードページ⇒

